

プラズマ・核融合学会誌

第83巻第6号

2007年6月

解 説	核融合炉トリチウム水処理システムの研究開発動向 山西敏彦, 岩井保則, 磯部兼嗣, 杉山貴彦	545
	核融合実験装置におけるペレット入射による燃料供給 坂本隆一, 星野光保	560
講 座	最新レーザーとプラズマ研究	
	はじめに 植田憲一	567
	1. プラズマ研究の発展に寄与する最新レーザー技術	
	1.1 トムソン散乱プラズマ計測と最新レーザー技術 中塚正大	569
	1.2 最新レーザー技術を用いたプロセスプラズマ診断 佐々木浩一	573
レビュー論文	マグネシウムとレーザーを用いた再生可能エネルギーサイクル 矢部 孝	578
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	583
Plasma & Fusion Calendar	585
インフォメーション	586
	幅広いアプローチ活動だより(3)	
	【人事公募】	
本 会 記 事	第24回年会一般講演の募集 588	

表紙の絵

レーザープラズマチャンネルに信号を伝播させ、センシングに利用するという発想から、レーザー (1.9×10^{10} W/cm²) でスチロール板上に平行線プラズマを生成し、マイクロ波 (300, 600, 900 MHz) を導波させた。結果、プラズマ生成後 20 dB を超える伝播利得が得られ、プラズマの導電率の低下に伴って減衰していくことを確認した。(Hiroto NAKAJIMA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol.2, 012 (2007). <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方に】本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です) 権利委託先: 学術著作権協会 Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください、

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC) (222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA Tel 1-978-750-8400; Fax 1-978-646-8600)